

## toBeマーケティング(株)

【関東 | ITソフトウェア健康保険組合】

### オフィス環境の整備を通じて社内のコミュニケーション向上を図る

健康な職場づくりを目指してスタートした「健康企業宣言」の取り組み。平成30年6月30日までに338社がStep 1「銀の認定証」を獲得しています。

今回は認定企業のなかから、コミュニケーションの向上を軸に健康な職場づくりの取り組みを進めているtoBeマーケティング(株)をご紹介します（関東 | ITソフトウェア健康保険組合と共同取材）。

#### 事業所のアウトライン

#### toBeマーケティング(株)



本社オフィス



本社所在地：東京都千代田区

業 種：ITを活用したマーケティング支援事業

社 員 数：66名

（平均年齢38歳・女性が3割を占める）

※平成30年5月末現在



代表取締役 CEO  
こいけ ともかず  
小池 智和さん

「社員が健康であることは、私たちがサービスを提供する上で、とても重要です」



管理部 人事・総務チームリーダー  
いとう ちほ  
伊東 知穂さん

「健康経営にはふだんのコミュニケーションが重要なので、そこを一生懸命に頑張っています」



管理部 財務・経理チーム  
せきぐち あや  
関口 彩さん

「健康企業宣言から健康経営優良法人認定までの取組みや手続きについては、コンサルティング会社のサポートにより、安心してスムーズに進めることができました」

toBeマーケティング(株)は、ITを活用したデジタルマーケティング／コンサルティング企業です。設立3年の若い企業で、顧客企業のウェブサイト開設・イベントなどのマーケティング活動を支援するため、独自のデジタルツールの提供やその活用のためのコンサルティングを主な業務としています。

現在、同社では約70人の社員で800社の顧客をサポートしており、日々の仕事は顧客企業と接する時間が約7割、残る時間で企画立案や状況分析、社内でのミーティングなどを行います。「コンサルティング」というと、とかく知識集約型の涼やかな仕事のイメージもありますが、実際は地道な顧客対応が柱であり、「社員が健康であること」はよりよいサービスを継続的に提供していくカギとなっています。

同社の場合、健康とは、単に「病気になること」ではありません。社員が前向き・積極的に仕事に取り組めるように、からだの健康管理とともに心の健康づくり、そしてそれらのベースとなる健康な職場づくり、快適な環境づくりを推進しています。今回、同社の健康づくりをご紹介しますポイントは、ここにあります。

## システムチックな業務管理で 長時間労働の根絶をめざす

IT関連というと、「長時間労働」の印象があります。「採用で応募いただいた方にも、『IT業界はブラックでは?』の声は少なくないですね(笑)。実際、お客様の業務やニーズをしっかりと理解し、同時に新しい技術や情報を日々収集し、身につけるには時間はいくらあっても足りないのが本音です。ただしそれでは疲弊するばかりですから、当社では労働時間の管理はかなり気を遣っています」

こう語るのは、toBeマーケティング(株)の代表取締役・CEOの小池智和さんです。

同社では過重労働を防止し、決められた時間内にきちんと成果が上がるよう、社員がどのお客様に何をしているのか、常に系統的に把握できるようになっており、残業面では22時を過ぎてなお業務中の社員には人事・総務から注意が入ります。

「『ブラック』(笑)というイメージ払拭のためにも、健康企業宣言は非常によいことですね。社員の健康に投資し、それを経営資源として組織活性化や生産性向上につなげる健康経営は、私たちの考え方やビジネスに近いと感じて取り組みを始めたんです」(小池CEO)

健康企業宣言への挑戦は、これがきっかけとなりました。同社は昨年5月に「健康企業宣言Step1」へと応募して、12月6日に「銀の認定」を取得。今年2月には「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」の認定も得ました。

## 「心の健康づくり」 から始まった健康管理

冒頭のように同社で特徴的なのは、疾病予防やストレス対策など「心身の病気を防ぐ健康管理」はもちろんのこと、

社員が健康で積極的に働いていくことを可能にする健康で柔軟なメンタルづくりと健康な職場づくり・快適な環境づくりに力を入れている点です。

「社員の健康づくりは、メンタルヘルスからスタートしました。会社の設立直後からノウハウ豊富な外部スタッフ(Tree of Heartの藤田さん)の協力が得られたこともあり、社員全員で呼吸法やウォーキングを学んだり、イベントを開催したり、社内の風通しをよくしてストレスを減らし、活き活きと働けるようにする取り組みを続けてきました」(小池CEO)

そしてそうした姿勢の集大成ともいえるのが、事業規模や人員の拡大に伴い今年5月に移転した同社の本社オフィスです。



ふじた ゆか こ  
(株)Tree of Heart代表取締役 藤田友佳子さん

「総務・人事のご担当者の方が健康経営の取組みを進めようというときに、施策のご提案やアドバイスを中心に、申請書類作成・手続きまでトータルのお手伝いをしています」



「呼吸法」の健康習慣研修

## コミュニケーションを高める 新オフィス

同社の新オフィスは、社員同士のコラボレーション、コミュニケーションの促進を最大のテーマにしています。「働く空間＝オフィスがクリエイティビティや生産性に影響するのは、かねてから実感していました。とくに仲間と一緒に、コラボレーションで行う仕事は、オフィスがとて

も重要です。当社にとって新オフィスはかなり大きな投資でしたが、仕事の質を高めるためにふみぎりました。健康経営の継続には、仕組みや制度として形にしていけることが大切ですが、働く環境＝オフィスは、とてもわかりやすい投資ではないでしょうか」(小池CEO)

全体が「集中ブース」と「コラボレーションスペース」、そして気分転換を図るための「リフレッシュルーム」「マインドfulnessスペース」に分けられたオフィスで、社員は思い通りの働き方・使い方をしています。

「新オフィスは、『CaFFICE (カフィス：Café+Officeの造語)』がコンセプトです。大切にしているのは『コミュニケーション』で、一人で集中して仕事をしたい場合は集中ブースに入り、社員同士のコミュニケーションが大切な仕事にはコラボレーションスペースがある。その切り替えて生産性が上がっていると思います。最近はこちらの意図を超えた活用法も多いのですが(笑)、環境を提供したら社員みんながそれを磨いていろいろな働き方が実現し、ストレスが減って健康的に働くことにつながるのではないかと思います」

こう語るのは、管理部 人事・総務チームリーダー、伊東知穂さんです。



カフェスペースでは、本格的にコーヒーも淹れられます



カフェのようなりフレッシュルーム



コラボレーションスペース。  
さまざまなかたちで打合せや会議などの共同で行う作業ができます。  
左奥はカフェスペース



コラボレーションスペースには  
昇降式で立って打ち合わせができるテーブルもあります(手前)。  
右奥は集中ブース



話題の“人をダメにするソファ”でリラックス

## 健康管理や社内イベントにも全社一丸で 取り組む風通しのよさ

同社で現在、ストレスが少ない職場づくりが実現できている背景には、「コミュニケーション力の高いオフィスの存在」に加えて「風通しのよい職場の雰囲気」も大きいといえます。

「健康経営では、風通しのよい職場、密なコミュニケーションが重要だと考えています。心やからだの調子が悪いとき、周りの人が気づいてあげられるか。うちでは今も社内で呼吸法体験をしたり、社員をインストラクターにヨガを行ったりしていますが、声をかけると皆、『やるやる!』と進ん

で参加してくれる雰囲気なんです。藤田さん（前出）からメニューやアイデアを提供いただいて、毎年新しいもの、浸透しやすいものを考えて実施します。皆でワイワイやれてコミュニケーションにつながって、健康になれば一番いいですね」（伊東さん）

このほか社内の研修等の後に懇親会を企画したり、社員同士の活動に福利厚生費を支出したりもします。こうしたイベントや、健診実施の情報なども社内SNSの掲示板に掲載し、未読の社員にはメールで連絡するなど、周知を徹底しています。

「健康企業宣言や健康経営は、前例がないなかで社内の担当者だけで取り組もうとしたら非常に大変だったはず。当社の場合は健康面の活動でご提案をいただいていたTree of Heart・藤田さんにコンサルティングに入っていたり、関東ITソフトウェア健康保険組合に指導いただいたりしてスムーズに認定を得られました。外部の力を活用するのは大切ですね（笑）」

管理部 財務・経理チーム 関口彩さんは、笑います。



活発な社内コミュニケーション



社内合宿での1コマ

## 今後の課題は

設立から3年、急ピッチで企業規模を拡大してきた同社だが、健康づくり・健康管理の面では今後、どんな展望があるのでしょうか。

「最初、2人から始まった社員があっという間に70人に増

え、今では部長や課長がいる組織になりました。今までの取り組みをただ続けていくだけでは、今の会社の意識や雰囲気を継続していくことは難しいでしょう。この中間管理職の人たちの意識次第で、会社の雰囲気は大きく変わるんだと思います。しかし、社員が健康であることが私たちのサービスにとってとても重要だという共通認識は、これからも変わらないはず。健康経営をしっかりと会社のしくみに組み込んで、経営として重要なメッセージとして伝え続けようと思っています」（小池CEO）

「これからも社員の数は増えていくでしょう。その過程で、弊社にとって健康企業宣言の認定は大きなプラスとなるはず。今後は、会社のきっかけからでなく、社員が自発的に健康づくりに動き出してくれるといいですね。実は今、社内でクラブ活動をしたいとの声があがっているのですが、心身ともに健康になってもらうため、そうした自主的な活動をサポートしていけたらいいと思っています」（伊東さん）

「今の取り組みは、会社が目の届く人数であるからこそできている部分があります。今後、社員が増えたときに全社員の健康管理に目が届くかなという心配もあります。管理者への教育を充実させ、マネジメントの意識に健康経営を根付かせていく努力が必要ですね。手法としてもeラーニングなども含めて、いろいろ考え企画していこうと思っています」（関口さん）

コミュニケーションが活発で風通しのよい職場で始まった、心の健康づくりの活動が、コミュニケーション力の高いオフィスとして形となった、toBeマーケティング(株)。健康企業として社員の健康向上を実現しつつ、健康企業宣言の認証を経営的なメリットとして活用している姿は、まさに健康企業宣言の望むべき姿なのかもしれません。



会社エントランスにて。  
左から関口彩さん、小池智和社長、伊東知穂さん